

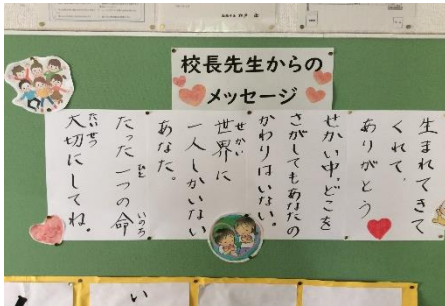
薬円台小だより

命を大切にする話

校長 大橋 一樹

本校のイチョウやカエデなどの葉も色づき始め、本格的な秋の到来を感じます。新型コロナウイルス感染症の新規感染者が減少しており校外学習や行事も実施でき、少しほっとした気持ちになっています。しかし、第8波も確実にあるだろうと冬期に向けて油断は禁物とも思います。検温を含めた健康観察、マスクの着用、手洗い・消毒、換気等基本的な予防策は引き続き必要です。ご協力をお願いします。

先月末、秋季運動会を行いました。とても素晴らしい天気恵まれ子供たちの「最後まであきらめないでやり抜く」姿がたくさん見られました。また、今年度は応援団も復活し、団長以下団員の子供たちは朝早くから練習し、当日も立派に会を盛り上げていました。PTA役員の方をはじめ、多くの保護者の皆様に自転車の整理や会場警備のご協力をいただきました。あらためて御礼申し上げます。また、来校されました保護者の皆様におかれましても、しっかりとルール等を守って参加して下さいありがとうございます。薬円台小の子供たちの素直でよく人の話を聞く姿は、保護者のお人柄や家庭での教育の賜物と改めて感じることができました。短い時間でしたが、少しでも教育活動を公開できたことうれしく思っています。



さて、先日前期の終業式があり子供たちに命の大切さを中心に話をしました。薬円台小学校の重点目標でもある「命を大切に、思いやりのある子」に触れ、保護者の方や先生方が一番大事にしているものは何でしょう？と問いかけてみました。リモートでしたので反応はわからなかったのですが「それは、子供たち一人一人の命です。」と話しを続けました。家では、「宿題はやったの？」「明日の準備はしたの？」「部屋を片付けなさい。」「勉強頑張りなさい」など我が家でもそうでした

が、ついつい子供たちに口うるさく厳しい言葉をかけてしまいます。しかし、一番は健康で毎日元気に過ごしている姿が見られることが本当の幸せだと感じます。今、世界の国々では争いにより多くの命が失われています。また、国内においては中高生が自ら命を絶つという数も増加傾向にあります。命の大切さについては、継続して子供たちに訴えていきたいと思います。

本校では、児童会の子供たちによる「命を大切にするキャンペーン」に取り組んでいます。自分たちから発信し振り返る機会を設けることで、1年生から6年生まで発達段階は違いますがそれぞれ考えることとなっています。

自分の命を大切にすることと合わせて、他人の命も大切に思いやりの心を育てていきます。いじめ問題についても、命の尊さを感じた子は、人を傷つけることもなくなると思って伝えていきたいです。



秋季運動会の様子

10月29日(土)

秋晴れの中「それいけ薬小！赤白共に 心を合わせて 限界突破！」のスローガンのもと開催しました。その様子を少し紹介します。

1年生



2年生



3年生



4年生



5年生



6年生



★本校ホームページをご覧ください。

最新情報や日々の教育活動・児童の様子を中心に「今日の薬円台小」に掲載しています。

<https://www.city.funabashi.lg.jp/gakkou/0001/yakuendai-e/index.html>

